



# さくら

令和2年7月2日号  
桜小学校長 発行

<http://sakura-e.yatomi-schoolnet.jp/>

## 一人一人の特性を認めて！

学校再開から一カ月が経過しました。梅雨の時期となり、暑くてジメジメしていますが、子どもたちはとても元気に生活しています。

さて、登下校中や授業中に子どもたちの様子を見ると、一人一人の違いを見ることができます。「**みんな違う**」これは本当に素晴らしいことです。子どもたちは一人一人が良いところをもっています。もちろん苦手なこともあります。しかし、その苦手なことは、悪いことでしょうか。その子の特性かもしれません。特性を理解し、認めることが大切です。「友達の〇〇さんは、こんなに〇〇ができるのに・・・」「なんで、あなたは〇〇ができないの」と言うのではなく、「あなたは〇〇ができてすごいね」「あなたの〇〇なところは素敵だね」と認めたいものです。

「私と小鳥と鈴と」

金子みすゞ

私が両手をひろげても、お空はちっとも飛べないが

飛べる小鳥は私のやうに、地面を速くは走れない。

私がからだをゆすっても、きれいな音は出ないけど、

あの鳴る鈴は私のやうに、たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、

みんなちがって、みんないい。



## With コロナ —新しい生活様式—

新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言が解除され一カ月が過ぎ、少しずつ通常に近い教育活動を展開しています。しかしながら、感染再拡大への備えは欠かせず、手洗いの励行・咳エチケットの徹底・3密の回避など、今まで以上に気を付けていきたいものです。

ところで、学校生活の中でいかに感染防止を徹底しても、仲の良い友人同士の家庭間の行き来や家族ぐるみの交流を通じて感染が拡大してしまうと、学校全体の教育活動ができなくなってしまうことがあります。特に会食の際には、対面を避けるなど、「新しい生活様式」(裏面)を参考にし工夫していただき、感染が広がらないようにご配慮をお願いします。

さて、この新型コロナウイルスは、多くの人命を奪い、恐怖を与えました。また、私たちの生活を大きく変え、大きな被害を与えました。しかし、いつまでも恐れているわけにはいきません。この新型コロナウイルスが私たちに教えてくれたものもあります。それは、当たり前の大切さ、人の温かさ、会話の素晴らしさなどです。今後は、これらのことを忘れないようにしながら、新しい生活様式を身に付け、コロナウイルスと上手に付き合っていかなければいけません。

今後とも、さまざまな面でご協力いただくことがあると思います。よろしくをお願いします。

## 今後の予定等

先日、年間予定表をお子様を通じて配付しました。この先、コロナウイルス感染症のため、学校生活がどのようになっていくのかわかりませんが、現段階での予定等です。よろしくをお願いします。

### 1 7月20日(月)～8/31(月)は、原則5時間授業です。

夏休みの短縮による登校日ですが、個人懇談会(8/3～8/6)と夏休み前後の短縮日(8/7・8/24・8/25)以外は、5時間授業で15:05一斉下校とします。

### 2 修学旅行・野外教室・校外学習は、計画通り実施する予定です。

もちろん、この先の状況によって実施できない場合がありますが、旅行者と相談し、コロナウイルス感染症対策をきちんとしたうえで、実施していきます。

### 3 7・8月の給食費は、集金しません。

以前もお知らせしましたが、7・8月の給食費は、弥富市の方で負担していただきます。